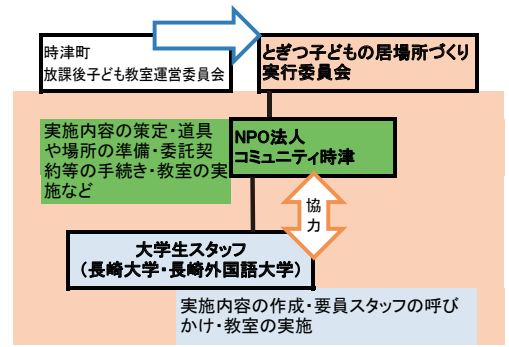


英語を学びながら、住んでいる時津町を知っていきこう！

長崎県時津町	● 活動名	とぎつサタデールーム
	● 関係する学校名	時津町立時津小学校、時津町立時津北小学校、時津町立時津東小学校、時津町立鳴鼓小学校

開始年度	平成 17 年度	学級数	25 学級	児童・生徒数	687 人
活動内容	<input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 芸術活動 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習・伝統文化 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	連携団体・企業等	NPO 法人コミュニティ時津
ボランティアの数	登録人数 13 人	属性	地域住民、大学生		
参考 URL	http://www.togitu.org/				

● 体制図



● 連絡先 時津町教育委員会社会教育課 ☎ 095-882-2211

● 活動の概要・経緯
 平成17年より開始した時津放課後子ども教室「いただきますクッキング」に引き続き、平成27年度から開始した事業である。核家族化する社会の中、未来を担う子供たちに多世代・地域住民との交流をさせることが活動の始まった経緯である。
 NPO 法人コミュニティ時津の会員を中心に、大学生スタッフと連携して年間行事を作成し、毎月第二土曜日、9時から13時まで実施している。時津町内の歴史や施設を活かして自分の住む町を知る活動を主とし、大学生が英語の歌やクイズなどを交えて外国語交流も行っている。また町内の指導者を呼ぶことで町民とのふれあひも図っている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

大学生との交流に特徴がある。長崎大学の学生は教育学部のメンバーが多く、子供たちの指導において学校での指導と区別し、のびのびした雰囲気作りを心掛けている。また、長崎外国語大学のメンバーには留学生も含まれ、ネイティブの英語を聞く機会にもなっている。

また、活動自体が多様多様であることも特徴である。住む町を知ることが主ではあるが、料理や図工、史跡巡りなど様々な活動を実体験して学んでいる。中でも料理活動は人気で、「郷土料理クッキング」の大村すしは調理後、食事時間が設けられ子供たちもとても楽しい様子である。

作成活動も人気の活動の一つ。「印かんとボールペン習字」は発砲スチロールで印を作り、日頃の感謝を込め家族に向けた手紙を作成する。手紙の内容は心温まるものもあり、家族交流のきっかけになっているようである。

6月は環境月間ということもあり、大村湾の清掃活動を通じて自分たちの住む町をきれいにする意識づくりを行う。

【実施にあたっての工夫】

教室実施後の NPO 法人コミュニティ時津と大学生スタッフのミーティングにより充実した活動になっている。実際に大学生スタッフ10名に一人ひとりに感想や反省点を述べてもらい、来年の実施内容の参考にしている。また、次回の活動内容の打合せを行う事でよりスムーズな準備ができています。

参加者は受付後、他校の子供でも互いの名前を覚えられるように名札を付けている。

● 事業を実施しての効果・成果

異世代交流において、子供たちは大学生との交流で他人の大人に対しても心を開き明るく振る舞っている様子が見られる。また、地域の大人たちとの交流が増え、子供の社会性の育成につながっている。他にも他校の子供たちとのふれあいで住んでいる地域を越えた繋がりを育んでいる。

また、作成した作品（12月のリース作り）を褒められたことで、子供たちは喜び、自信をもつことにも繋がっている。その作品を次回に展示することで、多くの人に見て貰おうとスタッフたちの意欲も高まっているようである。

活動時は実際に時津の住人が指導をし、名所や歴史を学ぶことで郷土愛も養っている。

● その他

○連携している NPO 法人：「コミュニティ時津」 サタデールームの他に地域住民に向けたパソコン教室、芸術やスポーツを通して文化的な生活の増進に寄与している。また、大村湾の環境保全（子供たちのクルージング体験含む）や東南アジアの子供の教育環境の充実（文房具や衣服の支給含む）を図る活動も行う。

○学習支援：英語活動 大学生スタッフにより1回の活動につきコマ英語活動をいれている。言葉の他にも留学生の話やジェスチャーを学ぶことで文化交流を図る。



時津の昔の生活を知ろう・史跡巡り（26聖人の記念碑にて）



外国の文化を学ぶ（フランス編）

ポイント

大学生が運営に関わる好事例。どのような学生を、どのような方法で集め、どのような形で運営に関わってもらえるのかなど、大学生と関わりを持ちたいと思っている地域にとって、非常に参考になりますね。